

東北地区ESD環境教育 プログラム成果発表会

ESDってなあに？ 知ろう！ 学ぼう！ 行動しよう！

2014
2/1(土)

入場無料

「ESD」＝持続可能な開発のための教育。
難しいことのようにだけど、環境について学ぶことや、
地域の伝統や人と触れるのも大事なESDです。
ESDは、地域の将来をみんなで考え一緒につくること。
その実践が東北各地で広がっています。

2014. 2/1(土) 13:00～16:00

仙台市シルバーセンター7F第一研修室

(仙台市青葉区花京院1-3-2)

13:10～基調講演「ESD:持続可能な未来のための人づくり・地域づくり」

小金澤 孝昭 氏(宮城教育大学国際理解教育研究センター長)

いつまでも豊かに暮らすことのできる持続可能な社会をつくるためには人づくり・地域づくりが重要なカギになります。これがESDの考え方です。ESDについてわかりやすくお話しいただきます。

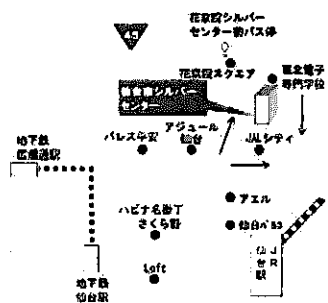
14:00～東北6県ESD環境教育プログラム実践事例発表

今年度、市民団体が学校や地域の人たちと一緒にを行った環境教育の実践事例を発表します。

- ・青森県:NPO 法人 かなぎ元気倶楽部
- ・岩手県:NPO 法人 環境パートナーシップいわて
- ・秋田県:一般社団法人 あきた地球環境会議
- ・宮城県:NPO 法人 まなびのたねネットワーク
- ・山形県:カワラバン
- ・福島県:NPO 法人 いわき環境研究室

15:30～交流タイム

会場後方で名刺交換等



主催/環境省東北地方環境事務所 運営/公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)

お問合せ先/MELON 事務局

TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713 Email melon@miyagi.jpn.org

住所 〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F URL http://www.melon.or.jp/



青森県：NPO法人かなぎ元気倶楽部

**「身近な公園をもっと知って
魅力を伝えよう！」**

毎年ゴールデンウィークには全国から約30万人以上の観光客が訪れる県立芦野公園。広大な園内では樹齢百年を超えるソメイヨシノをはじめ、多種類2,200本もの桜が華やかさを競い、全国桜百選にも選定されています。この由緒ある身近な公園についてもっと地域の人々が学び、理解し、今やるべきことは何か、そして後世に伝えるべきことは何かを考え、その思いを一緒に形にすることによって、より多くの人々が今以上に地域に愛着をもってもらおうプログラムです。

宮城県：NPO法人まなびのたねネットワーク

**「カキを通して、
宮城のきれいな海を守ろう！」**

松島湾で行われている牡蠣の養殖を通して、海と川、森とのつながり、人々の生活と自然環境について学ぶプログラムです。松島湾・桂島において海岸清掃を通して東日本大震災の漂着ごみについて学び、きれいな海を守る大切さを知ります。牡蠣の養殖を営む漁師から牡蠣の生態などについて学び、おいしい牡蠣を食べ続けるために私たちができることについて考えます。

岩手県：NPO法人環境パートナーシップ

**いわて
「三陸自然学校・大槌」**

児童・生徒を対象として普段何気なく見ている大槌川の自然を学ぶプログラムです。その流域の観察等を通して川の生態系の多様性や相互のつながり、ひいては森・川・海とのつながりや関わり合いを学びます。また、とうふ作りを地元の大人から学ぶことを通して地域の農産物や伝統文化を体感し、同時にコミュニケーション能力を高め、地域への帰属感を育んでいきます。

山形県：カワラバン

**「鮭をとおしてかんがえる、
川のこと、食のこと」**

鮭川村には鮭をはじめとした川魚や、自然の恵みをじょうずに取り入れた食文化があります。鮭川村の資源である川魚の使うことが川の保全につながることを学習し、実際にサケを使った郷土料理を作って試食し地域の伝統を伝えていくプログラムです。鮭をテーマに楽しくおいしく学びます。

秋田県：一般社団法人あきた地球環境会議

**「MOTTAINAI(もったいない)の
松林を秋田方式で未来へ」**

地域に昔から存在する海岸松林に焦点を当て、「①何故秋田の海岸には松が存在するのか？」を先人の知恵や行動から学び「②松枯れの被害の現状と今後私達がすべき事」を皆で考え、「③マツ枯れ防除『秋田方式』」を学び「炭やきで夕日の松原まもり隊」と一緒に活動してみよう」の体験学習を通じて、ふるさとの松林の恵みに気づき、主体的に活動する事により大切にすることを育てます。将来にわたり持続可能な社会を創る人材の育成を目的としたプログラムです。

福島県：NPO法人いわき環境研究室

**「ふるさとのきれいな水を学び、
守ろう」**

いわきの海岸地域において、河川流域を基本とした森、川、海の恩恵と脅威を身近なものとして学ぶプログラムです。水の浄化実験や洪水の流出後の土層見学を通じ森の力を知ります。川での生物調査を通して人の社会活動の影響を考えます。磯では二枚貝の浄化実験等を通じ自然の力を学びます。プログラムの実施においては線量測定も行い、原発事故による放射能汚染の影響についても考えます。

講演者：小金澤孝昭氏（宮城教育大学国際理解教育研究センター長）

1952年東京生まれ、東京都立大学理学部卒業。北海道大学にて博士号（農学）取得。

1982年より仙台に移り宮城教育大学に勤務し現在に至る。

1992年のリオ・サミット、2002年のヨハネスブルグ・サミット（国連地球環境会議）に参加。

2005年より仙台広域圏のESD拠点づくりを行う。専門は環境地理学、地域経済論など。

司会：櫻田彩子氏（フリーアナウンサー：自らも環境について学び、東京で環境省事業などの司会を数多くつとめるエコアナウンサー）

※切り取らずにそのままFAXしてください。

参加お申込み書

送付先:022-219-5713

FAX・メールでお申込みの方には、受付完了のご連絡をいたします。送信後3日経過しても事務局から連絡がない場合にはお手数ですがお問い合わせください。いただいた情報は、イベントの実施以外の目的には使用いたしません。

会場に空きがあればお申込みなしで当日参加も可能です。

氏名	所属	電話番号